

一般社団法人 日本生物物理学会
平成 28 (2016) 年度 事業報告
(2016 年 5 月 1 日～2017 年 4 月 30 日)

目次

1. 事業概要
2. 各事業詳細資料
 - 2-1. 学術誌・学術図書が発行 (定款第四条第 1 号)
 - 2-2. 学術・科学技術に関する研究発表会、講演会、セミナー等の開催 (定款第四条第 2 号)
 - 2-3. 人材育成 (定款第四条第 3 号)
 - 2-4. 研究業績と技術的実践の奨励と表彰 (定款第四条第 4 号)
 - 2-5. 関連学術団体との連携及び協力 (定款第四条第 5 号)
 - 2-6. 国際的な研究協力の推進 (定款第四条第 6 号)
 - 2-7. 普及啓蒙活動
3. 付属明細
 - (付属明細 1) 処務詳細資料
 - ・総会・役員会等に関する事項
 - ・契約・入札・他に関する事項
 - (付属明細 2) 会員の異動状況
 - (付属明細 3) 事務局の現況 (2017 年 4 月 30 日現在)

1. 事業概要
主な活動は
 - 1) 学術誌・学術図書 (和文誌・欧文誌) の発行
 - 2) 学術・科学技術に関する研究発表会、講演会、セミナー等の開催
 - 2-1) 第 54 回日本生物物理学会年会の開催
 - 2-2) 会員総会シンポジウムの開催
 - 3) 人材育成：学会年会でのキャリア支援説明会の開催
 - 4) 若手奨励賞と学生発表賞について
 - 5) 生物科学学会連合への参画
 - 6) 国際的な研究協力の推進
 - 7) 普及啓蒙活動

2. 各事業詳細資料

2-1. 学術誌・学術図書の発行（定款第四条第1号関連）																	
2-1-1. 邦文誌「生物物理」	<p>・第56巻3号～6号・第57巻1号・2号を刊行した。（A4版・隔月刊） 56巻3号 16記事63ページ 56巻4号 16記事63ページ 56巻5号 14記事66ページ 56巻6号 13記事61ページ 57巻1号 14記事78ページ 57巻2号 13記事59ページ</p> <p>【ダウンロード数（2016年5月～2017年4月）】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>今期刊行号</th> <th>バックナンバー</th> <th>総計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学会 PDF 版</td> <td>5,214</td> <td>2,197</td> <td>7,411</td> </tr> <tr> <td>J-STAGE 版</td> <td>16,537</td> <td>186,577</td> <td>203,114</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>21,751</td> <td>188,774</td> <td>210,525</td> </tr> </tbody> </table> <p>・第56巻はSupplement1-1（年会プログラム集：印刷体3,300部）、Supplement1-2（年会 予稿集：電子版のみ）も発行した。</p> <p>【冊子体購読数】 機関会員：47、購読（書店経由）：55、購読会員：10（内名誉会員4） 上記に加え、賛助会員8、寄贈会員11にも送付している。</p>		今期刊行号	バックナンバー	総計	学会 PDF 版	5,214	2,197	7,411	J-STAGE 版	16,537	186,577	203,114	合計	21,751	188,774	210,525
	今期刊行号	バックナンバー	総計														
学会 PDF 版	5,214	2,197	7,411														
J-STAGE 版	16,537	186,577	203,114														
合計	21,751	188,774	210,525														
2-1-2. 欧文誌「Biophysics and Physicobiology」	<p>Vol.13 (2016.5-12) Regular Article 19、Review Article 4、Note 2、Preface 1、 Experimental Methods and Protocols 1、 Databases and Computer Programs 1、 Hypotheses and Perspectives 1、Erratum 1</p> <p>Vol.14 (2017.1-4) Regular Article 6</p> <p>【ダウンロード数（2016年5月～2017年4月）】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>今期刊行号</th> <th>バックナンバー</th> <th>総計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5,888</td> <td>21,002</td> <td>26,890</td> </tr> </tbody> </table>	今期刊行号	バックナンバー	総計	5,888	21,002	26,890										
今期刊行号	バックナンバー	総計															
5,888	21,002	26,890															
2-1-3. 学会ホームページ	<p>・小中高校への講師派遣サポート事業開始に伴い、ページを作成した。</p>																
2-2. 学術・科学技術に関する研究発表会、講演会、セミナー等の開催（定款第四条第2号関連）																	
2-2-1. 年会運営	<p>・以下の年会を開催した。 2016年第54回日本生物物理学会年会 年会実行委員長：豊島 陽子 氏（東大） 日時：2016年11月25日～27日 場所：つくば国際会議場</p> <p>・以下の年会の開催準備を行った。 1) 2017年第55回日本生物物理学会年会 年会実行委員長：山縣 ゆり子 氏（熊本大） 日時：2017年9月19日～21日 場所：熊本大学</p> <p>2) 2018年第56回日本生物物理学会年会 年会実行委員長：沈 建仁 氏（岡山大） 日時：2018年9月15日～17日 場所：岡山大学</p>																

	<p>3) 2019 年第 57 回日本生物物理学会年会 年会実行委員長：永井 健治 氏（大阪大） 日時：検討中 場所：検討中</p>
2-2-2. 総会シンポジウム	<ul style="list-style-type: none"> 以下の総会シンポジウムを開催した。 <p>第 3 回会員総会シンポジウム「1 分子生物物理の勃興期から未来 木下一彦氏を偲んで」 日時：2016 年 11 月 26 日（土）13:00-13:55 会員総会中 場所：つくば国際会議場 D 会場 形式：講演会 講演者：石渡 信一 氏（早稲田大学）、城口 克之 氏（理研）</p>
2-2-3. 各種講演会	45 件の協賛・共催・後援を行った。
2-3. 人材育成（定款第四条第 3 号関連）	
2-3-1. 男女共同参画・若手支援活動	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画・若手支援シンポジウム <p>以下のシンポジウムを実施した。 「キャリアデザインの第一歩 一大学院生・研究者のための自己分析ワークショップ Academic Self-Analysis Workshop on Career Development」 日時：2016 年 11 月 25 日 11:45～12:35（第 54 回年会会期中） オーガナイザー：日本生物物理学会男女共同参画・若手支援委員会 形式：ワークショップ</p> <ul style="list-style-type: none"> 第 54 回年会において、キャリア支援説明会として、(株) レゾナンスの前田恵一氏を迎え、セミナー、交流会等を実施した。 若手奨励賞に加え、優秀な若手招待講演者に授与する「若手招待講演賞」と学生発表賞を新設した。 若手の会 2017 夏の学校への資金援助（20 万円）を決定した。
2-3-2. 男女共同参画学協会連絡会への参画	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画学協会連絡会 運営委員会第 14 期第 3 回、第 15 期第 1 回、第 2 回へ出席した（2016 年 8 月 30 日、12 月 13 日、2017 年 3 月 30 日）。 第 14 回男女学協会連絡会シンポジウムに参加、ポスター発表を行った。
2-4. 研究業績と技術的実践の奨励と表彰（定款第四条第 4 号関連）	
2-4-1. 若手奨励賞、若手招待講演賞、学生発表賞の選考、授与	<ul style="list-style-type: none"> 第 12 回若手奨励賞の選考を行い、第 54 回年会で授賞した。（受賞者 5 名） 第 1 回若手招待講演賞の選考を行い授賞した。（受賞者 6 名） 第 1 回学生発表賞の選考を行い授賞した。（受賞者 53 名）
2-4-2. Biophysics and Physicobiology 論文賞	<ul style="list-style-type: none"> 第 5 回 Biophysics and Physicobiology 論文賞 7 報の推薦論文について審査した結果、以下の 1 論文を第 5 回 Biophysics and Physicobiology 論文賞とし、第 54 回年会で授賞した。 <p>Yuki Sudo, Hiroyuki Terashima, Rei Abe-Yoshizumi, Seiji Kojima, Michio Homma Comparative study of the ion flux pathway in stator units of proton- and sodium-driven flagellar motors BIOPHYSICS Vol.5 pp.45-52 (2009)</p> <ul style="list-style-type: none"> 第 6 回 Biophysics and Physicobiology 論文賞 5 報の推薦論文について、審査を開始した。

<p>2-4-3. Biophysics and Physicobiology Editors' Choice Award</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・以下の4報の論文を第3回 Editors' Choice Award 受賞論文とし、第54回年会で授賞した。 <p>Electrophysiological characteristics of IB4-negative TRPV1-expressing muscle afferent DRG neurons Yi-Wen Lin, Chih-Cheng Chen BIOPHYSICS, Vol. 11, pp. 9-16 (2015)</p> <p>Lever arm extension of myosin VI is unnecessary for the adjacent binding state Keigo Ikezaki, Tomotaka Komori, Yoshiyuki Arai, Toshio Yanagida BIOPHYSICS, Vol. 11, pp. 47-53 (2015)</p> <p>Specific interactions between alkali metal cations and the KcsA channel studied using ATR-FTIR spectroscopy Yuji Furutani, Hirofumi Shimizu, Yusuke Asai, Shigetoshi Oiki, Hideki Kandori Biophysics and Physicobiology, Vol. 12, pp. 37-45 (2015)</p> <p>Structures of the Troponin Core Domain Containing the Cardiomyopathy-Causing Mutants Studied by Small-Angle X-ray Scattering Tatsuhito Matsuo, Soichi Takeda, Toshiro Oda, Satoru Fujiwara Biophysics and Physicobiology, Vol. 12, pp. 145-158 (2015)</p>
<p>2-5. 関連学術団体との連携及び協力 (定款第四条第5号関連)</p>	
<p>2-5-1. 生物科学学会連合への参画</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第14回定例会議へ出席した。(2016年10月8日) (第15回定例会議(2017年4月1日)は欠席)
<p>2-5-2. 日本学術会議生物物理学分科会への協力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎生物学委員会・統合生物学委員会合同生物物理分科会および基礎生物学委員会・統合生物学委員会合同IUPAB分科会第23期第4回・第5回において報告を行った。(2016年8月22日、2017年4月27日)
<p>2-5-3. 他学会との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日本物理学会、日本顕微鏡学会会員の参加発表奨励による連携強化を行った。
<p>2-6. 国際的な研究協力の推進 (定款第四条第6号関連)</p>	
<p>2-6-1. IUPAB(国際純粋および応用生物物理学連合) 関連</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・21st IBC (2023年) の開催地として立候補した。
<p>2-6-2. ABA(アジア生物物理学連合) 関連</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第54回日本生物物理学会年会(2016)において、海外とのジョイント・シンポジウムを3件(中国、韓国、オーストラリア)開催した。
<p>2-7. 普及啓蒙活動</p>	
<p>2-7-1. Biophysics and Physicobiology の国際情報発信力強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・投稿を奨励するため、以下を実施した。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 掲載料・ページチャージ無料キャンペーン 2. 編集支援体制の強化(編集業務支援者の雇用) 3. BPPBを紹介する小冊子の作成および配布 ・2016年8月、PubMed Central(PMC)に登載された。
<p>2-7-2. 小中高を対象としたセミナー講師派遣</p>	<p>2016年10月より、小学・中学・高校生を対象とした講師派遣サポート事業を開始した。2017年4月30日現在の講師登録者数は37名。</p>
<p>2-7-3. 公開講座</p>	<p>第54回年会上において市民講演会を開催した。 日時：2016年11月5日(土) 会場：東京大学駒場キャンパス 講演者：金子 邦彦 氏(東京大学)、野地 博行 氏(東京大学)</p>
<p>2-7-4. 女子中高生のための関西科学塾への協力</p>	<p>参加者への景品として、学会クリアファイルを提供した。</p>

2-7-5. 物理チャレンジ・国際物理オリンピックへの協力	学会ウェブサイトニュース欄に実施要項を掲載した。
2-7-6. その他国内・国外の啓蒙イベントへの参加	女子中高生夏の学校（2016年8月）にて、参加者に学会クリアファイル、学会パンフレットを配布した。男女共同参画・若手支援委員の理事3名がイベントに参加し、参加者への説明を行った。
2-7-7. 啓蒙グッズの制作・配布	文部科学省の平成26年度科学技術週間 一家に1枚ポスター「動く！タンパク質」を、女子中学生夏の学校および女子中高生のための関西科学塾にグッズ提供として送付した。また、年会市民公開講座のフライヤーを関東圏の諸機関に送付した際に同送した。

3. 付属明細

（付属明細1）処務詳細資料
総会・役員会等に関する事項

3-1-1. 総会（開催日）	2016年6月18日（定時社員総会）、2016年11月25日（臨時社員総会）
3-1-2. 会計監査会（開催日）	2016年6月2日
3-1-3. 理事会（開催日）	<p>2016年6月18日、9月3日、11月25日、2017年1月21日、4月15日 ・上記のうち、2016年9月3日、2017年1月21日、4月15日に開催された理事会についてはTV会議システムを活用した。</p> <p>メール審議 2016年 6月9日 H27年度事業報告書・決算報告書の承認 8月19日 日本生理学会大会での連携シンポジウムについて 11月3日 IUPAB2023招致活動のための事務職員の雇用について 11月14日 BPPB小冊子作成について 12月27日 GS10協力方法について 2017年 2月13日 IUPAB2017若手会員旅費支援について 3月6日 熊本年会シンポジウム採択案について 3月21日 第6回論文賞選考委員の推薦 3月24日 熊本年会被災地学生会員参加費免除について 4月28日 日本学術会議公開シンポジウムのポスター作成費用について</p>
3-1-4. 委員会（開催日）	<p>・出版委員会 2016年6月18日、9月3日、11月25日、2017年1月21日、4月15日</p> <p>・男女共同参画若手支援委員会 2016年6月18日、9月3日、11月25日、2017年1月21日、4月15日</p> <p>（出版委員会、男女共同参画若手支援委員会ともに、2016年9月3日、2017年1月21日、4月15日開催の委員会はTV会議システムを利用し、それぞれの委員でない理事はオブザーバとして委員会に参加した。）</p> <p>・会誌編集委員会 2016年6月9日、9月12日、2017年3月30日</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・ Biophysics and Physicobiology 編集委員会 2016年11月24日、11月25日 ・ HP 編集委員会 2016年11月24日 ・ 賞選考委員会（メール審議） 2016年 <ul style="list-style-type: none"> 7月19日 文部科学大臣表彰 8月4日 朝日賞 8月23日 上原賞・井上學術賞受賞候補者推薦 9月12日 木原記念 9月16日 島津賞・内藤賞・東レ科学技術賞 9月21日 東レ科学技術研究助成 12月12日 藤原賞 2017年 <ul style="list-style-type: none"> 2月13日 山田科学振興財団研究援助 2月22日 江崎玲於奈賞 3月21日 日本學術振興賞 <p>上記の各賞に候補者を推薦した。</p>
--	---

契約・入札・他に関する事項

- ・ 主な新規契約に関する事項

契約年月日	相手方	契約の種類	期間等
2017年4月1日	大阪大学総長	賃貸契約	2017年4月1日～2018年3月31日

- ・ 入札に関する事項（なし）
- ・ その他の事項（なし）

（付属明細2）会員の異動状況

会員種別	会員数		増減	
	2016年4月30日現在	2017年4月30日現在		
正 会 員	一般会員	2,205	2,147	▲58
	学生会員	947	1,044	97
	シニア会員	46	54	8
名誉会員	23	21	▲2	
機関会員	51	47	▲4	
賛助会員	8	8	0	
総計	3,280	3,321	41	

今期の新規入会者数

- 一般会員 90名（うち、紹介キャンペーン利用者 0名）
- 学生会員 330名

（付属明細3）事務局の現況（2017年4月30日現在）

会長室	アルバイト1名
-----	---------